

Photo Gallery

☆原生の森の散策路の草刈りなど 森づくり事業で整備



▲展望台への散策路の下草刈りをする参加者

8月11日、原生の森公園でボランティアによる森づくり事業が行われ、町民、JR 函南駅北エリア活性化の会、町議会議員、町職員など78人が参加しました。

同事業は山の日になんで行われ、参加者は草刈り機やチェーンソーなどで枝払いや展望台までの遊歩道の下草刈りなどの整備を行いました。

ハイキングや森林浴などで人気の原生の森。最近ではドラマのロケ地として使用されました。これからの紅葉のシーズンに向けて足を運んでみませんか。

☆8月は道路ふれあい月間 道路愛護事業で整備



▲草刈り機でのり面の草を刈る参加者

8月1日～8月31日は道路ふれあい月間です。これにあわせて、8月2日、町内の県道や町道などの道路沿い、のり面の整備が行われました。

道路愛護事業は、道路美化・安全使用の気運を高め、道路愛護思想の普及を図ることを目的に毎年8月の第1金曜日に実施しています。

当日は町内の建設業者や水道業者、測量設計業者、町職員など107人が参加し、草木を刈ったり、空き缶などのごみを拾ったりして道路沿いの整備を行いました。

☆災害ボランティア本部の設置運営などについて 社会福祉協議会と協定締結

8月22日、函南町役場で函南町社会福祉協議会と「函南町災害ボランティア本部の設置運営等に関する協定」を締結しました。

同協定は、町内で大規模な災害が発生した場合の被災者支援のために、被災者が必要とするボランティア支援の体制を確保し、町内の災害復旧対策が円滑に実施できる体制を構築することを目的としています。災害ボランティアの受け入れおよび活動依頼、必要な資機材の調達および提供、情報の収集および提供などの内容が含まれています。



▲協定書を掲げる仁科町長(左)と社会福祉協議会高橋会長(右)

☆親子で楽しくそば打ちに挑戦 お父さんと子どものそば打ち体験教室

8月4日、西部コミュニティセンターで「お父さんと子どものそば打ち体験教室」が行われ、10組の親子が参加しました。

そば打ちは、そば粉を混ぜるところからはじまり、そばをゆで試食するところまで親子でコミュニケーションをとりながら実施しました。

参加した子どもたちからは「自分で打ったそばは先生の見本とは違かったけど、おいしかった」、「いつもお父さんと一緒に何かすることがないから、今日は楽しかった」などの声が聞こえました。



▲協力して打ったそばを切る参加者

☆カーマン市教育研修訪問団 帰国報告会



▲研修で感じたことを堂々と発表する福士拓海さん

8月22日、函南町役場で「2019年度カーマン市教育研修訪問団帰国報告会」が行われました。

7月28日～8月6日の10日間、ホームステイをしながら姉妹都市カーマン市などでの研修を終えた訪問団。報告発表では団員それぞれが自然や文化、食べ物の違いなど研修で学び、体験し、感じたことを発表しました。どの団員も堂々と発表し、貴重な経験を通じて大きく成長したことを感じさせるものでした。

また、カーマン市で行われたコミュニティパーティーで団員が披露したスピーチや歌などの出し物も披露し、会場を盛り上げました。

☆ニュースポーツで親睦を深める ファミリーバドミントン大会



▲友達や家族とファミリーバドミントンを楽しみました

8月7日、函南町体育館で「函南町ファミリーバドミントン大会」が行われ、33人が参加しました。

ファミリーバドミントンは、バドミントンのルールをもとに、軽く短いラケットやスポンジボールのついた大きいシャトルを使用し、スマッシュ禁止など競技性よりもレクリエーションを主としたニュースポーツです。

初めて体験する参加者も多かったのですが、すぐにラリーができるようになり、いい汗をかいて楽しみながら友達や家族との親睦を深めました。